

【研究主題】 本 derful 講演会～成瀬は天下を取りに行く～

【学校名】 滋賀県立草津東高等学校

1 本校の概要

本校は、普通科 8 クラスと体育科 1 クラスを併設する大規模校である。生徒の大半は大学進学を目指し学習活動を行っている。一方で、部活動に所属する生徒の割合は常に 80%以上であり、高いレベルでの文武両道を目指して学校生活を送っている。さらに 2005 年度より読書推進活動にも取り組んでいる。

2 取り組んだ内容

(1) 作家による講演会

読書活動の一環として、作家による講演会を実施している。昨年度からは 2 年に一度の開催となった。今年度は、12 月 12 日(木)栗東文化芸術会館さきら大ホールにて 1・2 年生の生徒と保護者(希望者)対象に「成瀬は天下を取りに行く」の著者である宮島未奈さんに講演をしていただいた。事前に生徒は著書を読み、質問や感想を記入して提出した。

(2) 当日の様子

決められた時間、一方的に作家に話をしてもらう形式ではなく、「作家になるまでの経緯」「高校時代に考えていたこと」「『成瀬は天下を取りに行く』の誕生秘話」について、区切って話をしていただいた。合間に本ダブル委員の生徒が話をしたり、放送部の生徒が小説の冒頭部分を朗読したりと、生徒参加型の形式にした。宮島さんからの話の中で、事前に生徒から寄せられていた質問に答えていただく場面もあった。さらに、その場で生徒から出た質問にも答えてもらった。特に盛り上がったのは、宮島さんから生徒に対して、「今後、小説の主人公の成瀬に関するグッズを出すとしたらどんなものがいいか」という質問をしてくださったことである。舞台袖には実際に出版社の方も来てくださったので、生徒たちは自分の意見が現実になるかもしれないという思いから真剣に考え、発言していた。

3 活動の成果

生徒は自分が読んだ本の著者から、実際に小説を書く上での裏話や自身の経験について直接話が聞けたことに素直に感動していた。以下生徒の感想の一部を紹介する。

・作家になられた過程をこまかく教えてくださって、とてもおもしろかったです。「未来はどうか分から

ない」という言葉で勇気をもらった。高校時代のお話を聞くことができ、作家さんの人生は自分とは全然違った人生でおもしろかった。

・とても有名な作家さんからの貴重なお話を聞けてとても嬉しかったです。以前、『成瀬は天下を取りに行く』を読んで、発想がとても豊かで、性格が少し変わっている成瀬のお話がとてもおもしろくて、いつも小説が読み切れない私でも最後まで楽しく読むことができました。それも講演会を聞いて読みやすいように工夫していると聞いて納得できました。講演会で逆に質問されるのは初めてで、とても面白かったです。

・宮島さんが来られると聞いてから、楽しみにしていたので講演会を聞けてとても良かったです。言いたいことを簡潔にすらすら言えるのがすごいなと思いました。宮島さんも、高校時代がとてもいやだとおっしゃっていて、親近感を感じました。宮島さんの本を読むと、とても分かりやすく、話がずっと入ってくるのは、宮島さんが意識して書いた結果だと聞いて、すごいなと思いました。宮島さんのお話を聞いて、未来は分からないと改めて感じました。新作がとても楽しみです。

・大賞を受賞されてから(依頼が多くなり)、講演の話をほとんど断っていると聞いて、とても貴重なお話をしていただけたのだと改めて強く感じた。普段からあまり本を読むことのない私からしても、参考になるような考え方を聞けてとても良い機会になったと感じる。

